

事業番号	07 04 01	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検	
事業名	次世代産業の創出支援事業費	部局	産業労働部	課・室	産業技術課
		実施期間	T7 ~	E-mail	sangi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現				
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成		2-3 海外との未来志向の連携		2-5 地域に根差した産業の振興
	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保				

1 現状と課題

目指す姿	長野県の次世代を担う産業を創出するため、「長野県ものづくり産業振興戦略プラン(H30~R4)」(H30策定)に基づき、今後成長が期待される「健康・医療」、「環境・エネルギー」、「次世代交通」、「ナノテク・材料」などに係る産学官連携プロジェクトを推進し、国際競争力を有する産業集積の形成を目指す。	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 「長野県航空機産業振興ビジョン」(H28策定)及び「長野県における航空機産業振興の当面の対応方針」(R2決定)に基づき、県内企業の航空機産業参入等を促進 「長野県医療機器産業振興ビジョン」(H31策定)に基づき、医療機器開発・事業化の一貫支援体制を整備 「長野県ゼロカーボン戦略」(R3策定)に基づき、県内企業による新たなゼロカーボン関連技術開発等を促進 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 航空機産業は、新型コロナウイルス感染症の影響により需要が減少しており、数年後と言われる需要回復期を見据えた対応が求められている 航空機や医療機器などの今後成長が期待される分野の産業を県内に集積するためには、地域をけん引する中核企業の創出が必要 脱炭素に向けた県内企業のゼロカーボン関連技術開発には、既存の材料や原理を変えるほどの新しい技術へのチャレンジが必要であり、ハードルが高い 各産業分野においてグローバル化が進展する中で、県内中小企業にはコスト競争力の強化はもとより、国際規格や新技術などへの対応が求められている 	<ul style="list-style-type: none"> 航空機産業参入企業の人材育成や社内体制の整備等、アフターコロナや需要回復期に対応できる体制構築を支援 各産業分野を取り巻く状況を把握し、ニーズに即した支援を行うことにより、県内企業の技術力や販路開拓力を強化し、国際競争力のある地域中核企業を創出 県内企業が参入できる可能性が高い産業分野ごとに研究会を設置し、その活動等を通じて、CO₂削減に向けた技術開発プロジェクトを組成 AI・IoT技術の活用や生産体制の見直しなどを支援することによりコスト競争力を強化。また、工業技術総合センターによる技術開発の促進等により、国際規格や新技術などへの対応を支援

2 令和4年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ゼロカーボン技術事業化促進事業において、県内企業とともに出展予定であった展示会の経費が一部不要となったことと、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、打合せや会議等を現地ではなく、web会議等に代えて実施したことにより、旅費や会場費等の一部に不用額が生じたことによる補助金の減 産学官連携推進事業において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、打合せや会議等を現地ではなく、web会議等に代えて実施したことにより、旅費や会場費等の一部に不用額が生じたことによる補助金の減
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<ul style="list-style-type: none"> 【DX】AI・IoT・ビッグデータなどの情報技術の導入支援や全ての産業におけるDXを促進 【ゼロカーボン】「長野県ゼロカーボン戦略」(R3策定)に基づき、県内企業による新たなゼロカーボン関連技術の開発や導入を促進 【学びの県づくり】航空機や医療機器分野の知識習得のための講座開設などによる人材育成を支援

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R4年度目標値
1	技術相談件数(工業技術総合センター技術相談件数)	件	19,544	19,547	↗	18,000	↘	19,500
2	窓口相談件数(特許相談件数)	件	2,328	3,015	↗	2,900	↘	2,900
3	航空機産業に取り組む企業数	社	89	86	↘	86	→	86
4	医療機器事業化開発支援件数(部材開発支援件数)	件	58	61	↗	60	↘	60
5	ゼロカーボン関連技術事業化開発支援件数	件	—	—	—	17	—	30

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	予算額	前年度繰越	1,124,490	1,507,429
	当初予算	635,830	622,641	667,540
	補正予算	1,805,332	166,813	23,350
	合計(A)	3,565,652	2,296,883	840,890
	うち一般財源	760,872	335,668	334,086
	決算額(B)	1,895,131	1,949,366	
	職員数(人)	119	119	119

設定理由	成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 1 工業技術総合センターの技術支援状況を量的に把握する指標 2 中小企業に取り組む知財戦略への支援状況を量的に把握する指標 3 航空機産業クラスターの形成に向けた企業の集積状況を把握する指標 4 医療機器産業への参入支援状況を把握する指標 5 ゼロカーボン関連技術の事業化開発支援状況を把握する指標
	目標値	<ul style="list-style-type: none"> 1 工業技術総合センターに整備した支援拠点に関する技術相談も加味した目標とする。 2 R3年度と同程度の支援水準を確保することを目標とする。 3 新型コロナの影響による需要低迷期が続くことが予想され、航空機産業に取り組む企業の維持を目標とする。 4 R3年度と同程度の支援水準を確保することを目標とする。 5 県内企業によるゼロカーボン関連技術の事業化開発を支援する事業を行うため、新たに目標値として設定する。

事業番号	07 04 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	次世代産業の創出支援事業費			部局	産業労働部	課・室	産業技術課

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算		
1	産学官連携推進事業	54,935 千円	54,535 千円	当初 補正	64,856 -1,000 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	支援機関の連携によるイノベーション創出事業	補助金	(公財)長野県産業振興機構が主導し、支援機関等の力を結集して、産業イノベーションの創出に向けたプロジェクトを推進 【プロジェクト推進件数 2件】			
2	産学官連携技術開発推進事業	直接委託	産学官連携によるプロジェクトを企画・推進するため、関係機関との調整や工業技術総合センターによる技術開発を実施し、社会実装を目指す 【技術開発プロジェクト推進件数 5件】			
3	有望プロジェクト事業化促進事業	委託	県内企業、大学等が保有する中核技術を活用して行う研究開発・事業化計画の磨き上げを支援 【戦略策定支援件数 4件】			

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算		
2	工業技術総合センター事業	401,517 千円	324,723 千円	当初 補正	381,633 31,350 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	工業技術総合センター運営費	直接	県内企業からの技術相談や依頼試験、施設利用に対応 【技術相談件数 19,500件】			
2	機器整備事業	直接	工業技術総合センターにおける設備整備を実施 【新規整備機器 3件】			
3	基盤技術力強化支援事業	直接	具体的な研究テーマ(技術シーズ)に係る実用化の可能性を検討する研究会を開催し、検討結果に基づき共同研究を実施 【研究会開催件数 11件、共同研究実施件数 14件】			

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算		
3	発明奨励事業	4,504 千円	4,458 千円	当初 補正	4,458 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	特許情報利用促進事業	補助金	(一社)長野県発明協会が設置する知財総合支援窓口の運営を補助し、相談対応を支援 【窓口相談件数 2,900件】			

事業名	次世代産業の創出支援事業費	部局	産業労働部	課・室	産業技術課
-----	---------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
4	航空機産業振興事業	51,582 千円	36,201 千円	当初 44,053 補正 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	航空機システム産業振興拠点運営事業	直接 負担金	「航空機システム産業振興拠点(エス・バード)」に拠点マネージャーを配置し、各種事業を効果的に推進するとともに、人材育成から研究開発、実証試験、産業化までを一貫支援 【技術相談件数 130件】
2	航空宇宙産業クラスター形成事業	直接 補助金 委託	「NAGANO航空宇宙産業クラスターネット」を通じた開発人材の育成や、航空機における感染予防、ニューノーマル、電動化などの新たなニーズへ対応するための技術や製品開発等を支援し、航空機システム拠点形成を促進 【航空機の電動化を推進するプロジェクトの実施 1件、研究開発支援件数 4件】

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
5	信州医療機器事業化促進・グローバル展開事業	62,657 千円	78,963 千円	当初 67,926 補正 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	信州医療機器事業化促進・グローバル展開事業	補助金	信州大学等の関係機関と連携し、医療機器の開発・事業化と医療機器開発人材の育成を支援 【事業化開発支援件数 60件】

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
6	ゼロカーボン関連技術開発等促進事業	10,000 千円	66,821 千円	当初 79,344 補正 <u>-7,000</u> 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	ゼロカーボン技術事業化促進事業	補助金	県内企業が参入できる可能性が高い産業分野ごとに研究会を設置し、その活動等を通じて、CO ₂ 削減に向けた技術開発プロジェクトを組成及び支援 県内企業による新たなゼロカーボン関連技術の開発を補助金により支援 【事業化開発支援件数 30件】
2	カーボン排出量可視化・削減支援事業	直接 補助金	製品ライフサイクル全体のカーボン排出量の算定・可視化とカーボン排出量削減のための取組を支援するとともに、ゼロカーボンの必要性等について普及啓発 【カーボン排出量可視化支援 50件、削減支援 10件】

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
7	AI活用/IoTデバイス事業化促進事業	30,194 千円	29,505 千円	当初 26,270 補正 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	AI活用/IoTデバイス事業化促進事業	直接	AIやIoTの専門人材を招へいし、県内企業によるIoT機器などの研究開発・事業化を支援等 【新製品・サービス開発支援件数 15件、生産現場DX支援件数 4件、生産現場DX等インストラクター派遣企業数 3社】